

教職大学院における特別支援教育に関する授業の改善

教職大学院・檜木暢子

1. 授業の概要

1-1 カリキュラムの概要

教育実践高度化専攻は通常の学校の教員を目指すストレートマスターと通常の学校の現職教員を対象としており、特別支援教区に関する知識がほとんどない院生が在籍している。

本レポートでは教職大学院における特別支援教育に関する授業の改善を報告する。

教職大学院のカリキュラムにおける特別支援教育に関する授業科目は専攻必修科目「特別支援教育の理論と実践」、コース別科目「特別な教育的ニーズへの対応」、「児童生徒・保護者の教育相談実践」「子ども理解の心理的アプローチ」である。コース別科目は教育実践開発コース（ストレートマスター）で開講している。

1-2 授業概要

○特別支援教育の理論と実践

特別支援教育の概要、各障害の特性の紹介と支援・指導方法、実習校等で気になる児童生徒に関するケースレポート、特別支援学校

の見学（2校）

○特別な教育的ニーズへの対応

個別の教育支援計画・個別の指導計画の概要と活用方法、通常の学校における学習上のつまづきへの対応、支援を要する児童生徒がいる学級での学習指導案立案・検討

2. 授業評価

2-1 受講生対象のアンケート

平成28年度2月にアンケート調査を実施した。受講生の成績に一切影響させず、授業に対する自由な回答を保障するため、最終試験終了後に配布、無記名とし、紙媒体で研究室ドアに設けた回収袋への提出とした。受講生は1回生19名で、回答数16通、回収率84.2%だった。

必修科目「特別支援教育の理論と実際」の回答者は16名、それ以外の3科目の回答者は11名（重複）であった。

表1 「特別支援教育の理論と実践」の内容

内容	方法
特別支援教育の動向、インクルーシブ教育システムの構築	講義
各障害の理解	講義と反転授業
個別の教育支援計画と個別の指導計画	講義
合理的配慮を含んだケース検討	グループディスカッション
インクルーシブ教育システム時代の健康教育	講義、ゲストティーチャー
特別支援学校見学	学外授業、レポート

表2 「特別な教育的ニーズへの対応」の内容

内容	方法
特別な教育的ニーズとインクルーシブ教育の理念	講義、ディスカッション
個別の教育支援計画、個別の指導計画の理解	講義
読み書き困難、算数・数学困難への支援	講義、演習
自己理解を促す支援	講義、演習、ディスカッション
コミュニケーション・ソーシャルスキルの課題への対応	
特別な教育的ニーズに対応する学習指導計画立案	模擬授業、ディスカッション
キャリア発達と学齢期の課題	学外授業、レポート
附属特別支援学校研究大会への参加	

2-2 アンケート結果と考察

＜特別支援教育の理論と実践＞

表3に「特別支援教育の理論と実践」の学習内容に対して、教員として働く時に役立つと考える項目を、表4にそう考える理由を示した。「特別支援教育の概念」「インクルーシブ教育システムの概念」「各障害に関する調べ学習」は「知識として必要」とされていた。また、「特別支援学校の見学」「合理的配慮の概念、事例」は子どもの見方を具体的に理解できるとされていた。

表5にもう少し詳しく知りたい、学びたいと考える項目を示した。「インクルーシブ教育システムの概念」「合理的配慮の概念、事例」が多く、通常の学校における特別支援教育に対する関心が高いことがわかる。

自由記述では現場では学ぶ機会が少ないので、「もっと基本的な知識を知りたい」「専門的な内容や現場に持ち帰ることのできるものを量的に教授してほしい」、「現職教員の実践事例は若い人の役に立つ」などが挙げられていた。

＜特別な教育的ニーズへの対応＞

現職教員が履修していないことから、回答者はストレートマスター11名である。表6に「特別な教育的ニーズへの対応」の学習内容に対して、教員として働くときに役立つと考える項目を、表7にそう考える理由を、表8にもう少し詳しく知りたい、学びたいと考える項目を示した。前期に概説した「特別支援教育」「インクルーシブ教育システム」について、関心が高まったといえる。また、「コミュニケーション」「ソーシャルスキル」「自己理解」のライフスキルに関する項目が高かった。また、役立つと考える理由として「読み書き困難への支援」「算数・数学困難への支援」、前述のライフスキルに関する項目で、「子どもの見方がわかる」が最も多く回答されており、もっと学びたい項目でも「読み書き困難への支援」「ライフスキル」関連項目が高かった。実習回数が増えるとともに、児童生徒理解が進み、実態と支援の関連が見えてきたからこそこの回答と考えられる。

受講生は通常の学校教員を目指す者もしくは現職教員であることから、実際の指導・支援に役立つ概念理解と具体的な取組理解が必要であることが示唆された。特別支援教育が

重要だと言われているが、初めて知ったという声も多く、通常の学校教員養成課程及び現職の研修では実感を伴った知識が得にくいことが推測される。こうした点を踏まえて、実習の回数や児童生徒の実態把握の深度に合わせたカリキュラムを構成する必要があると考えた。

3. 授業の改善

平成28年度のアンケート結果を踏まえて、平成29年度に行った授業改善は次のとおりである。

＜特別支援教育の理論と実践＞

- ①調べ学習の発表時にコメントを加える時間を増やす。
- ②事例についての発表については実習依頼時の依頼内容に加える。
- ③ユニバーサルデザインに関する教材紹介・教材提示を示し、特別支援教育が「気になる子」にとって有益であることを伝える。

＜特別な教育的ニーズへの対応＞

- ①仮想ケースではなく、実際に関わっている児童生徒を想定して、授業計画を立案するようにした。
- ②講義の際には、実習巡回で得た情報を例に挙げ、実習校における授業実践・生徒指導と関連付けて考えられるようにする。

4. 地域社会を核とした教育と研究のつながり

現在、通常の学級に在籍する「気になる」児童生徒は約6.5%といわれているが、県内の巡回相談等では、実際には10%を超えているという実感をもつと話す教員がほとんどである。通常の学校における特別支援教育の実践は喫緊の課題である。現職教員は通常の学級でも必要であり、身近な問題として捉えていた。1年間の授業後、ストレートマスターは特別支援教育を自分たちが直面する課題であることを理解できるようになってきた。

今後も、現職教員とストレートマスターが共に学ぶことで、学びにくさのある児童生徒への理解が進み、理論と実践が結びつくような授業展開を目指していきたい。また、授業のユニバーサルデザインやアクティブラーニングの視点を活用することで学び方の多様性に対応する力を育てていきたい。

表3 「特別支援教育の理論と実践」: 教員として働く時に役立つと考える項目(複数回答)(人)

特別支援教育の概念	知的障害特別支援学校の教育課程	自立活動、教科領域を合わせた指導	特別支援学校の見学	ゲストティーチャーによる講義	インクルーシブ教育システムの概念
12	8	8	12	7	12
合理的配慮の概念、事例	各障害に関する調べ学習	仮想ケースの事例検討	実習もしくは指導経験による事例発表	論文購読	個別の教育支援計画と個別の指導計画
13	11	9	7	5	10

表4 「特別支援教育の理論と実践」: 教員として働く時に役立つと考える主な理由(複数回答)(人)

	知識として必要	子どもの見方がわかる	内容が具体的	グループワーク	配布資料	現職教員・ストレートマスターとの交流
特別支援教育の概念	12	4			3	
知的障害特別支援学校の教育課程	8	1	3	1	3	1
自立活動、教科領域を合わせた指導	4	3	3	3	2	1
特別支援学校の見学	3	9	8		1	1
ゲストティーチャーによる講義	2	4	3		2	
インクルーシブ教育システムの概念	11	3	2		5	
合理的配慮の概念、事例	6	8	8	2	4	2
各障害に関する調べ学習	9	5	2	2	2	5
仮想ケースの事例検討	3	5	6	2	1	2
実習もしくは指導経験による事例発表	1	5	6	1	3	4
論文購読	5	1	1		1	

表5 「特別支援教育の理論と実践」: もう少し詳しく知りたい、学びたいと考える項目(人)

特別支援教育の概念	知的障害特別支援学校の教育課程	自立活動、教科領域を合わせた指導	特別支援学校の見学	ゲストティーチャーによる講義	インクルーシブ教育システムの概念
4	1	4	3	2	6
合理的配慮の概念、事例	各障害に関する調べ学習	仮想ケースの事例検討	実習もしくは指導経験による事例発表	論文購読	個別の教育支援計画と個別の指導計画
8	0	4	3	0	0

表6 「特別な教育的ニーズへの対応」:教員として働く時に役立つと考える項目

特別支援教育、インクルーシブ教育システムの概念	個別の教育支援計画、個別の指導計画の理解	附属特別支援学校研究大会への参加	事例に関する授業計画作成及び検討	文献購読
9	7	8	7	6
読み書き困難への支援	算数・数学困難への支援	自己理解を促す支援	コミュニケーションの課題への対応	ソーシャルスキルの課題への対応
9	7	9	10	10

表7 「特別な教育的ニーズへの対応」:教員として働く時に役立つと考える理由(複数回答)(人)

	知識として必要	子どもの見方がわかる	内容が具体的	グループワーク	配布資料
特別支援教育、インクルーシブ教育システムの概念	9	1			1
個別の教育支援計画、個別の指導計画の理解	5	1	3		1
附属特別支援学校研究大会への参加	2	3	6		2
事例に関する授業計画作成及び検討	2	3	5	4	1
文献購読	4		1		
読み書き困難への支援	2	8	2	1	
算数・数学困難への支援	1	7	2	1	
自己理解を促す支援	1	7	2	1	
コミュニケーションの課題への対応	2	8	3		
ソーシャルスキルの課題への対応	2	8	3		

表8 「特別な教育的ニーズへの対応」:もう少し詳しく知りたい、学びたいと考える項目(人)

特別支援教育、インクルーシブ教育システムの概念	個別の教育支援計画、個別の指導計画の理解	附属特別支援学校研究大会への参加	事例に関する授業計画作成及び検討	文献購読
3	2	3	2	2
読み書き困難への支援	算数・数学困難への支援	自己理解を促す支援	コミュニケーションの課題への対応	ソーシャルスキルの課題への対応
6	3	6	8	7